



平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月8日

上場会社名 株式会社東京一番フーズ 上場取引所 東  
 コード番号 3067 URL <http://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 大地  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 岩成 和子 (TEL) 03-5363-2132  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	2,619	0.4	451	19.9	448	15.6	261	9.6
29年9月期第2四半期	2,610	0.3	376	△9.6	388	△10.0	238	△9.5

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 269百万円( 9.6%) 29年9月期第2四半期 245百万円( △6.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	30.08	29.48
29年9月期第2四半期	27.49	26.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	2,822	1,985	68.8
29年9月期	2,188	1,754	78.4

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 1,942百万円 29年9月期 1,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	-	0.00	-	5.00	5.00
30年9月期	-	0.00	-	-	-
30年9月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,437	8.6	119	16.2	134	9.5	69	120.2	8.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期2Q	8,780,800株	29年9月期	8,774,800株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	87,607株	29年9月期	87,607株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期2Q	8,688,525株	29年9月期2Q	8,676,280株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当社グループは、6次産業化を推進する総合水産企業を目指す中、飲食事業のとらふぐ業態に対するとらふぐ調達力において優位性を発揮しております。また、鮮魚業態においても、自社養殖場を活用し、生産から物流、調達、調理までを一貫管理するスキームにて付加価値の提供を図っております。特に、米国ニューヨークに出店した「WOKUNI」レストランでは、日本産の高品質な水産物により商品の差別化を図っております。

上記の環境下での事業展開の結果、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高26億19百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益4億51百万円（前年同期比19.9%増）、経常利益4億48百万円（前年同期比15.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億61百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (飲食事業)

主力業態の「泳ぎとらふぐ料理専門店 とらふぐ亭」では、『とらふぐ亭の日』（2月9日）から開催の『とらふぐ祭り』において、デジタルマーケティング手法を導入したことで従来はあまり訴求できていなかった若年層を取り込むことにつながり客数が増加しました。また、当施策により高額商品『特選白子コース』の販売が増加し客単価が増加いたしました。加えて、予約システムを本格的に稼働したことにより、既存店の売上が前年同期を超えることが出来ました。また、一時的に野菜仕入価格が高騰した影響を受けましたが、とらふぐの市場価格の下落傾向が続いたことで、食材の総原価が低減いたしました。

鮮魚業態では、当子会社長崎ファームの独自のロジスティクス力と包装技術を活かした『泳ぎイカ』ロケットパックを導入したことと、自社養殖『平戸本まぐろ極海一番（きわみいちばん）』を投入したことで差別化したメニューを提案できた結果、全店で売上高が前年同期を超えることが出来ました。

さらに、昨年11月開店したニューヨークのシーフードレストラン「WOKUNI」においては、国内よりの航空便週4便のロジスティクスネットワーク網を確立したことにより、自社養殖魚（『平戸本まぐろ極海一番』、『極海ぶり』）と築地市場での調達の高鮮度鮮魚にてメニューの差別化を図ることが出来ました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における飲食事業は、売上高22億94百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益4億38百万円（前年同期比29.1%増）となりました。

#### (外販事業)

第1次産業（養殖事業）においては、自社養殖『平戸本まぐろ極海一番（きわみいちばん）』の養殖生産が順調に進んでいるものの、成長状況を鑑みて今期1月からの出荷開始となり、出荷量及び出荷金額が前年実績を下回りました。

第2次産業（加工事業・卸事業）においては、塩浜センターに併設する「フグHACCP」加工場で製造するとらふぐ磨き（可食部位のみに製品化したもの）のグループ外への営業活動に力を入れ固定客づくりを強化したことで出荷量が増加しました。しかし、活とらふぐの市場価格の下落により活とらふぐのグループ外への出荷金額は減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における外販事業は、売上高3億24百万円（前年同期比16.0%減）、セグメント利益7百万円（前年同期比76.3%減）となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、6次産業化をさらに推進し、既存店舗の強化による店舗収益拡大に努めるとともに、海外展開の推進や、更なる販路拡大による外販事業の拡充に努めてまいります。また、引き続き主要食材である「国産高級とらふぐ」の市場価格を睨みながら、自社養殖場をもつ当社グループの強みも生かし、創業以来のこだわりである「国産高級とらふぐ」の安定的かつリーズナブルな価格でのお客様への提供に努めてまいります。

また、平成30年9月期の連結業績予想につきましては、平成29年10月31日発表の「平成29年9月期 決算短信」に記載しております業績予想から変更はありません。

なお、当社グループにおいては通常の営業の形態として、第1四半期及び第2四半期におけるふぐの需要が大きいため、第1四半期及び第2四半期と第3四半期及び第4四半期の業績に季節的変動があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	797,757	1,341,855
売掛金	87,322	137,603
仕掛品	232,092	235,871
原材料	58,575	42,054
繰延税金資産	17,417	24,006
その他	103,178	87,264
流動資産合計	1,296,344	1,868,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,290,189	1,421,110
減価償却累計額	△1,153,786	△1,162,093
建物及び構築物(純額)	136,403	259,016
機械装置及び運搬具	21,932	25,521
減価償却累計額	△19,256	△20,480
機械装置及び運搬具(純額)	2,675	5,040
工具、器具及び備品	356,152	378,080
減価償却累計額	△316,346	△322,875
工具、器具及び備品(純額)	39,806	55,205
土地	147,365	147,365
建設仮勘定	105,327	-
有形固定資産合計	431,578	466,627
無形固定資産		
ソフトウェア	0	3,196
無形固定資産合計	0	3,196
投資その他の資産		
敷金及び保証金	342,298	344,235
長期貸付金	3,000	3,000
破産更生債権等	21,478	21,478
その他	111,055	106,588
貸倒引当金	△41,387	△40,413
投資その他の資産合計	436,444	434,887
固定資産合計	868,023	904,712
繰延資産		
開業費	23,699	49,286
繰延資産合計	23,699	49,286
資産合計	2,188,066	2,822,653

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	88,737	83,928
未払金	166,355	156,065
未払法人税等	63,386	211,149
賞与引当金	10,740	13,750
その他	93,384	130,257
流動負債合計	422,603	595,151
固定負債		
長期借入金	-	230,000
その他	11,251	11,644
固定負債合計	11,251	241,644
負債合計	433,855	836,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	482,485	483,505
資本剰余金	384,485	385,505
利益剰余金	878,955	1,096,857
自己株式	△30,382	△30,382
株主資本合計	1,715,544	1,935,486
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△710	7,370
その他の包括利益累計額合計	△710	7,370
新株予約権	39,377	43,001
純資産合計	1,754,211	1,985,857
負債純資産合計	2,188,066	2,822,653

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	2,610,175	2,619,581
売上原価	1,007,514	831,586
売上総利益	1,602,660	1,787,995
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	337,001	353,569
雑給	150,111	151,821
賞与引当金繰入額	13,750	13,750
広告宣伝費	7,519	12,842
販売促進費	6,388	15,338
地代家賃	212,099	225,121
減価償却費	15,037	16,240
その他	484,049	547,550
販売費及び一般管理費合計	1,225,958	1,336,234
営業利益	376,701	451,760
営業外収益		
受取利息	20	18
協賛金収入	3,720	2,522
為替差益	2,363	-
受取家賃	1,158	882
受取保険金	-	5,918
その他	4,463	3,678
営業外収益合計	11,726	13,019
営業外費用		
支払利息	-	188
為替差損	-	13,329
開業費償却	-	2,570
その他	364	209
営業外費用合計	364	16,298
経常利益	388,063	448,482
特別利益		
新株予約権戻入益	-	51
特別利益合計	-	51
税金等調整前四半期純利益	388,063	448,533
法人税、住民税及び事業税	156,807	193,784
法人税等調整額	△7,241	△6,588
法人税等合計	149,566	187,195
四半期純利益	238,497	261,337
親会社株主に帰属する四半期純利益	238,497	261,337

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	238,497	261,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,548	-
為替換算調整勘定	△132	8,080
その他の包括利益合計	7,415	8,080
四半期包括利益	245,912	269,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,912	269,418



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。